学校番号	T0207

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「改訂版　新編　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

2　学習の到達目標

・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めている。
・論理的に考える力や他者に伝える力、物語の背景や登場人物の心情を豊かに想像する力を伸ばし、自分の人生に活かす力を身につけている。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉をとおして積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期（4・5・6・7・9月）	詩歌を味わう ［教材］ 「サーカス」 「俳句」 「短歌」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b［ 書 ］：書くことにおいて、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：進んで詩や俳句、短歌の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、自分の感じたことや伝えたいことなどを、表現技法に倣って効果的に書こうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	「ことば」を吟味する ［教材］ 「舟を編む」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特徴について的確に捉えている。 c：進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	現代にも生きる教え ［教材］ 徒然草 「高名の木登り」	a：古典の世界に親しむために、文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を理解している。 c：進んで文語のきまりや古典特有の表現を理解し、作者の考えを的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	和歌が作り出す世界 ［教材］ 「万葉集」 「古今和歌集」 「新古今和歌集」	a：言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることや古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで和歌における表現の特色を理解し、和歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
後期（10・11・12・1・2・3月）	「ことば」の力 ［教材］ 「葉桜と魔笛」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特徴について的確に捉えている。 c：進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	先人を思う旅 ［教材］ おくのほそ道 「平泉」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：進んで本文の構成や展開について理解し、作品に込められた作者の思いを読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動

	漢詩を味わう ［教材］ 中国の漢詩 日本の漢詩	a:古典の世界に親しむために、文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 b[　書　]:「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料の良さや味わいを吟味し、表現しようとしている。 c:進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動
	論語のことば ［教材］ 論語	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 b[　読　]:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:進んで論語に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	振り返りシート 授業内活動

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　５　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間　（そのうち、近代以降の文章を１０時間扱うこととする。）